

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

## 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の結果（聴覚検査・血液検査・MRI検査など）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている検査結果を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	聴神経腫瘍における蝸牛障害の検討 —TEN検査による蝸牛死滅領域の解析—
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授 山田啓之
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028年 3月31日
対象となる方	2020年1月から2026年3月に愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科を受診された未治療の聴神経腫瘍の患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 病名、性別、年齢、既往歴、合併症、聴覚検査の結果(純音聴力検査、語音聴力検査、自記オーディオメトリー、DPOAE検査、ABR検査、localization test、TEN検査)、MRI画像、血液検査データ、治療状況を取得する。
研究の概要 (目的・方法)	聴神経腫瘍による難聴は、患者さんごとにその経過が異なり、日常生活の質を低下させる症状です。原因として様々な機序が考えられていますが、近年、内耳が直接的に障害されることが注目されています。しかし、その発症頻度や特徴は未だ不明です。本研究では多彩な難聴の原因を示す聴神経腫瘍における内耳障害の発生頻度を明らかにするとともに、その特徴を研究します。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。

愛媛大学医学部附属病院単施設用

情報公開文書 作成日：2026年4月10日 第1版

	<p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 山田啓之 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5366</p>